

5. 今月のトピックス「チャノキイロアザミウマについて」

1. どんな虫？

茶の新芽を加害する微小な害虫です。雌成虫の体長は0.8～0.9mm、幼虫は淡黄色です。一般に「スリップス」と呼ばれることもあります(図1)。



図1 チャノキイロアザミウマ成虫(左)と幼虫(右)(茶業研究室原図)

2. 生態と被害

年間7～8世代発生します。越冬は主に成虫でおこなわれ、枝幹部の割れ目や包葉の中、落葉の裏、地表などで越冬します。1月ごろから活動を始め4月中旬頃から新葉に産卵します。幼虫は新芽や若葉の表層を吸汁加害し、葉柄の基部、若芽の葉の主脈に沿って褐変します。加害された葉は硬く小型化し、ひどくなると落葉して萌芽なくなります。(図2)。

3. 防除

新芽の開葉初期に防除することが重要です。成虫密度の高くなる5月下旬頃が防除適期です。有効積算温度による予測式では、今年の発生時期は平年よりも10日ほど早いと予想されます。(表)

農業研究所茶業研究室(亀山市)における発生消長のグラフを、病害虫防除所ホームページで提供していますので参考になさってください。

(<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>)



図2 被害葉、茶園の被害状況(茶業研究室原図)

表 有効積算温度によるチャノキイロアザミウマ成虫発生最盛日の予測結果(5月26日予測)

地点	世代	H27	平年	平年比(日)
四日市	第1世代	5月17日	5月28日	-11
	第2世代	6月15日	6月23日	-8
亀山	第1世代	5月16日	5月27日	-11
	第2世代	6月15日	6月23日	-8
粥見	第1世代	5月18日	5月26日	-8
	第2世代	6月16日	6月23日	-7

農薬はラベルを確認して正しく使用してください。